

(様式2)

学校関係者評価報告書

(愛媛県立土居高等学校)

学校番号 (3)

評価実施日		令和2年 2月 19日 (水)	
委員	氏名	所属等	備考
	妻鳥哲朗	四国中央市立土居中学校 校長	新規
	越智康	四国中央市土居文化会館 館長	継続
	手島純	伊予銀行土居支店 支店長	継続
	阪中洋	福助工業株式会社 人事部次長	継続
	古川龍太郎	出雲大社土居教会 副長	新規

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 授業の導入部分など工夫されており生徒たちが意欲的に取り組んでいるように感じた。また、授業の雰囲気もよく、前回参観した時よりも生徒が落ち着いている印象を受けた。調理実習では片付けまで細やかな指導ができていた。 自己評価にある家庭学習時間の目標は達成する数字としてはどうか。また、遠方の生徒には通学時間でしんどいのではないか。家庭学習を確保するための課題や学習習慣を身に付けることが課題である。地域の施設で学習している生徒もいる。 ICTを活用した授業を参観したい。</p> <p>(2) 生徒指導 あいさつが、しっかりできている。 学校や社会のルール、マナーについては、非常に服装も整い、整然とした清潔感がある。買い物をする時にもマナーを守っている。自転車のヘルメット着用率も非常によい。視界の悪い交差点で一時停止することなく交差点に進入してきた生徒がいたので具体例を挙げて指導するとよい。携帯電話の使用については、その弊害も指導してほしい。</p> <p>(3) 進路指導 進学、就職ともに100%と進路目標を達成している。横のつながりが強い中で育ってきた生徒が縦社会に入ってくる。分かっているつもりが多かったり、質問を自主的にできなかったり、動くことが少なかったりするので、そういったことができる社会に貢献できる生徒を育ててほしいという意見が現場から出ている。ただし、企業側の我々も変わっていく必要がある。</p>	<p>・学習習慣が身に付いていない生徒に対して適切な課題を出したり、学習方法やノートの取り方を指導している。 ・令和2年度からマナトレを有効活用し、より充実させ楽しみながら家庭で学習できるようにし、家庭学習習慣を身に付けるようにしたい。 ・全体指導と個別指導を効果が上がるように使い分けをしたい。 ・ICTの活用については一部の教科で実施しているが、研究授業を含めて全ての教科で実施していきたい。</p> <p>・教員や来校者に対する挨拶は90%の生徒ができていますが、生徒間のあいさつは60%と十分ではない。生徒会の朝のあいさつ運動や学校行事での交流の仕方等を工夫し、生徒間のあいさつを交わせる雰囲気の醸成を図りたい。 ・ヘルメットの着用については定着している。交通マナーの遵守の呼びかけについてはこれまで通り指導していきたい。 ・SNSやLINEの使い方等、危険性と上手に使うことを指導している。トラブルを起こさないよう引き続き今後も指導していく。</p> <p>・就職指導や進学指導に対して学校全体での指導、個別指導の体制ができていますので大切にしていきたい。また、今年度は進路決定後も学校に来て学習しており、今後も続けていきたい。 ・進路先は生徒の希望を第一にしているが、本人の適性にあっているか面接を通して把握するとともに生活指導と連携させながら指導したい。 ・地域、家庭と連携してインターンシップやキャリア教育の取組を今後一層進めていきたい。</p>
<p>2 重点目標について 重点努力目標、マニフェストについて前年度との継続性もあり、よいと思う。数値目標に対して達成度が低い項目については、数値目標そのものを検討するとよい。</p>	<p>・重点努力目標に基づき計画的、継続的な取組を行うとともに、その評価の改善に努める意識を持ち続けたい。 ・マニフェストの具体的数値目標については見直しを図る必要のあるものもあるが数字にこだわりすぎることのないよう学校、生徒に合ったものにしたい。</p>
<p>3 説明・公表について ホームページに学校の様子が紹介されており、よくわかる。また、新聞等で学校の教育活動の様子が数多く紹介されていた。今後も積極的に掲載してほしい。</p>	<p>・生徒会主催の行事を文化委員の生徒がホームページの文章を書いて掲載するようにしている。今後も地域、保護者への発信方法を工夫していきたい。毎日、更新したいが、週に5件の更新を目標としている。 ・マスメディアに対しては、プレスリリースを積極的に行情報提供をすることを今後も継続したい。 ・生徒が楽しく活動している様子を伝えるとともに、記事の中に行事の目的や成果を入れるようにした。</p>
<p>4 学校運営への提言</p> <p>(1) 授業を参観して学校が落ち着いた雰囲気の中で日々の教育活動が行われていることが分かった。</p> <p>(2) 紙のまち魅力化プロジェクトは大変興味深い。また、土居高校ならではの商品開発にも期待したい。</p> <p>(3) 学校評価アンケートの「そう思わない」の具体的内容を調べるとよい。</p>	<p>・多くの保護者が学校行事に参加するよう、ホームページに案内文書を掲載するようにした。今後も周知方法を工夫し、多くの参加を働きかけていきたい。 ・「紙のまち魅力化プロジェクト」は計画的に地域との連携を進めている。 ・過去には水引の商品を開発した。今年度は、盆栽ツアーを商品化し実施することができた。 ・アンケートに、その理由を具体的に書けるように回答欄を用意したい。</p>